

平成 25 年度活動報告

情報基盤センター

1. 各種サービス利用申請件数報告

現在の教育研究用計算機システムは平成 23 年 1 月に更新し、約 2 年が経過、安定的なサービス、運用を提供しています。本システムは、人事・給与、教務システムとの連携により全構成員にアカウントを発行し、センターシステムだけでなく、教務システム、図書館システム、大学情報データベースシステム等を含めた全学的な ICT システムと全学用無線 LAN に対するユーザ認証基盤を提供しています。平成 25 年度は 38,323 アカウントを発行し、教育用端末の利用、メールサービス等の基本サービスを提供しました。図 1 に全アカウント数の推移を示します。また、平成 25 年度の 1 日当たりのメールサーバの処理量は、教職員用メールサーバで 28,225 件、学生用メールサーバで 5,390 件でした。図 2 に、過去 5 年間の 1 日当たりのメールサーバの処理量の推移を示します。平成 23 年からは、迷惑メール判定サーバによる SPAM メールのブロッキング処理などにより、メールサーバの処理量は減少しています。

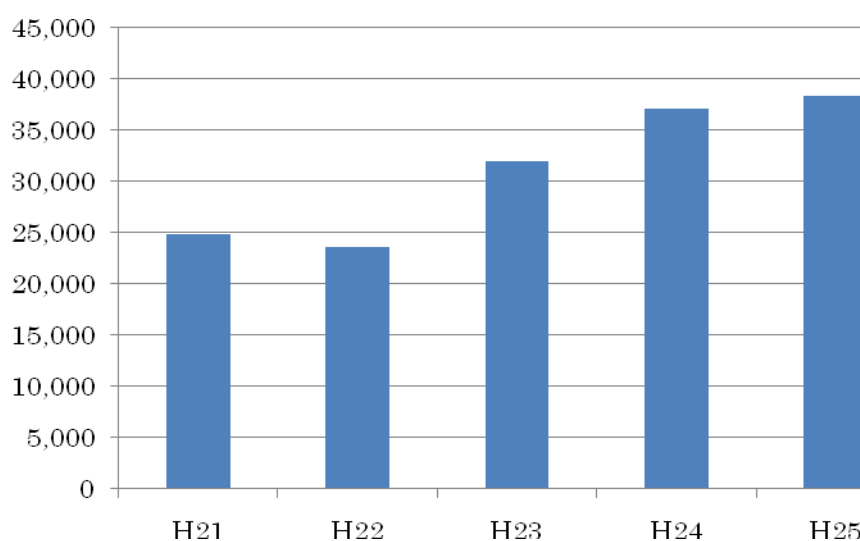


図 1: 全アカウントの推移

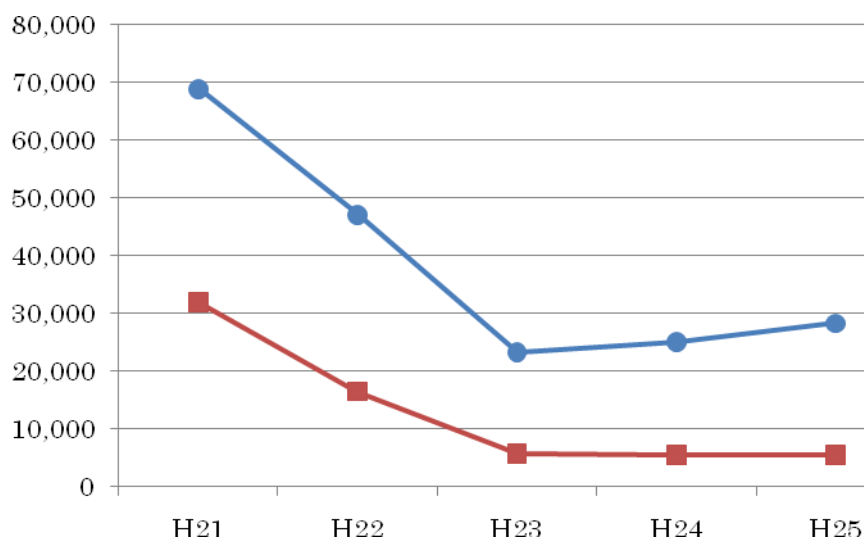


図 2: 1 日当たりのメールサーバ処理量

過去 5 年間の各種サービス利用申請件数について、平成 22 年以前を表 1 に、平成 23 年以後を表 2 に示します。これは、システムが更新され平成 23 年度からサービス名が変更となっているためです。

メーリングリストサービスやグループ Web サービスについては利用件数が年々増加しています。シンポジウム等の開催運営に利用するための申請もあり、学内の ICT を利用した教育研究活動をサポートしています。また、事務系のメーリングリスト自動生成サービスは、統合ユーザ管理システム(KUMA)と連携することで管理コストを大幅に軽減しています。全学システムでの利用を対象とした「仮想マシンサービス」、神戸大学シングルサインオンシステム(Knossos)に参加し、シングルサインオン(SSO)を実現する「認証フェデレーションサービス」、国立情報学研究所による学術認証フェデレーション(学認, GakuNin)を利用することができる「学術認証フェデレーションサービス」についても着実に利用が増加しています。バージョン管理サービスも、その利便性が認識され、利用申請されてきています。

表 1: 各種サービス利用申請件数[件]

サービス名	H21	H22
高速計算機サービス	16	14
レンタルメーリングリストサービス	243	259
メーリングリスト自動生成サービス(事務系)	177	－
バーチャルメールサーバサービス	9	10
トップドメイン Web サーバサービス	4	4
バーチャル Web サーバサービス	24	24
レンタル Web ページサービス	169	166
Windows 認証サービス	6	6
共有ディスクサービス	2	1
レンタル DNS サービス	37	25
Maple 数式処理システムサービス	9	8
メール中継サービス	61	－
対外公開サーバ設置申請	421	－
ビジター用無線 LAN サービス	12	－

表 2: 各種サービス利用申請件数[件]

サービス名	H23	H24	H25
高速計算機サービス	19	20	18
メーリングリストサービス	302	327	382
事務系メーリングリスト自動生成サービス	203	213	231
メールサーバホスティングサービス	10	10	11
トップドメイン Web サーバホスティングサービス	4	5	5
Web サーバホスティングサービス	25	25	26
グループ Web ページサービス	174	181	198
Windows 認証サービス	7	6	6
共有ディスクサービス	2	2	8
DNS ホスティングサービス	41	43	45
Maple サービス	9	10	12
メール中継登録	67	71	74
対外公開サーバ登録	515	506	519
ビジター用無線 LAN サービス	8	14	48
仮想マシンサービス	3	1	3
認証フェデレーションサービス	1	2	3
学術認証フェデレーションサービス	5	14	17
バージョン管理サービス	－	－	3

2. システム運用会議関連報告

情報基盤センターには利用者から教育用端末やネットワーク、メール利用に関わる数多くの問い合わせが寄せられます。センターでは、寄せられた問い合わせについて毎週開催される業務運用会議で、管理表をもとに報告を行い、審議等が必要なものは、審議し対応方針を決定しています。表 3 は利用者からセンターへ寄せられた問い合わせの件数、および開催された業務運用会議の回数です。教育研究用計算機システムでは、システム障害が発生した場合、その障害が確認された時点でセンターおよび各演習室担当者から直接保守業者メーリングリストへ障害連絡票が送られ、保守業者が対応しています。特に主要サーバは運用監視システムによってモニタリングされ、障害発生時にはセンターに設置されたパトライトで視覚的に検知できる仕組みになっています。安定的な運用のために、毎月保守業者との定例会議を設け、保守業者から前月 1 ヶ月間に発生したシステム障害の状況等について報告を受けるとともに対応を協議しています。表 4 に平成 25 年度に報告された教育研究用計算機システムの障害件数を示します。

また、神戸大学情報ネットワーク(KHAN2009)に関しても、毎月保守業者との定例会議を設け、保守業者より前月 1 ヶ月間に発生した障害への対処および状況報告を受けるとともに、検討が必要な対応について協議しています。表 5 に平成 25 年度に報告された障害件数を示します。

(文責:センターシステム係長 藪本義人)

表 3: 問い合わせ件数および業務運用会議回数

年 月	問い合わせ件数	定例	緊急	会議合計
2013 年 4 月	82	4	0	4
2013 年 5 月	71	5	0	5
2013 年 6 月	45	4	0	4
2013 年 7 月	39	5	0	5
2013 年 8 月	17	3	0	3
2013 年 9 月	33	4	0	4
2013 年 10 月	24	5	0	5
2013 年 11 月	32	4	0	4
2013 年 12 月	26	4	0	4
2014 年 1 月	27	4	0	4
2014 年 2 月	56	4	0	4
2014 年 3 月	35	4	0	4
合 計	487	50	0	50
月平均	40.6	4.2	0	4.2

表 4: 教育研究用計算機システムの障害件数

年 月	ハード	ソフト	その他	障害合計
2013 年 4 月	10	6	1	17
2013 年 5 月	46	6	0	52
2013 年 6 月	10	7	0	17
2013 年 7 月	12	6	0	18
2013 年 8 月	6	4	0	10
2013 年 9 月	4	2	0	6
2013 年 10 月	3	3	1	7
2013 年 11 月	14	2	0	16
2013 年 12 月	5	4	0	9
2014 年 1 月	6	5	0	11
2014 年 2 月	7	7	0	14
2014 年 3 月	3	0	0	3
合 計	126	52	2	180
月平均	10.5	4.3	0.2	15

表 5: 神戸大学情報ネットワーク(KHAN2009)の障害件数

年 月	業者処置	業者調査	その他	障害合計
2013 年 4 月	2	1	0	3
2013 年 5 月	1	0	0	1
2013 年 6 月	1	0	0	1
2013 年 7 月	3	0	0	3
2013 年 8 月	4	0	0	4
2013 年 9 月	2	1	0	3
2013 年 10 月	2	0	0	2
2013 年 11 月	2	0	0	2
2013 年 12 月	1	0	0	1
2014 年 1 月	2	2	0	4
2014 年 2 月	0	0	0	0
2014 年 3 月	4	0	0	4
合 計	24	4	0	28
月平均	2	0.3	0	2.3

3. 事務システムグループ関連会議報告(平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月)

○会計業務システム関係

- ・ソフトウェア保守定例会 6 回
- ・ハードウェア保守定例会 4 回
- ・IT 監査 1 回(1 日間)

○人事給与システム関係

- ・保守定例会 11 回
- ・COMPANY ユーザーコミッティ 国立大学法人分科会 1 回(1 日)
- ・次期人事給与システム更新 WG 1 回

○教務システム関係

- ・保守定例会 1 回
- ・大学教育推進機構全学教務委員会 11 回
- ・教務システム事務ワーキング 2 回
- ・次期教務システム活用方針検討部会 3 回

○その他

- ・情報システムにおける緊急時対応計画及び事業継続計画運用(IT-BCM)チーム定例会 1 回
- ・業務等システム等融合化検討 WG 1 回
- ・化学薬品管理システム WG 1 回
- ・近畿地区国立大学法人等情報化推進実務担当者連絡会 1 回(1 日)
- ・国立大学法人等情報化発表会 1 回(2 日間)